

伊勢市のシティプロモーションを考えるワークショップ（平成28年度 第3回） 結果概要

＜日 時＞平成29年2月1日（水） 18時30分～20時30分

＜場 所＞伊勢市観光文化会館 4階 大会議室

＜参加者＞9名

＜テーマ＞

第1回、第2回のワークショップで出た意見と他自治体の移住PRパンフレット事例を参考にしながら、来年度の『伊勢市 移住・Uターン応援ガイド』の構成と内容を検討し、実際にその案を6ページで作成するとともに、各作品の評価を行う。

＜ファシリテーター＞

皇學館大学文学部准教授 岡野裕行氏

第1部

3つの班（A～C班、各3人）に分かれ、第1回、第2回ワークショップで出た意見と他自治体の移住PRパンフレット事例を参考にしながら、来年度の『伊勢市 移住・Uターン応援ガイド』の構成と内容を検討し、6ページで作成を行った。

第1回、第2回で出た意見を共有



方向性（ターゲット、構成、内容）を決定



表紙や見出しなどにデザインを加え、パンフレットの案を完成

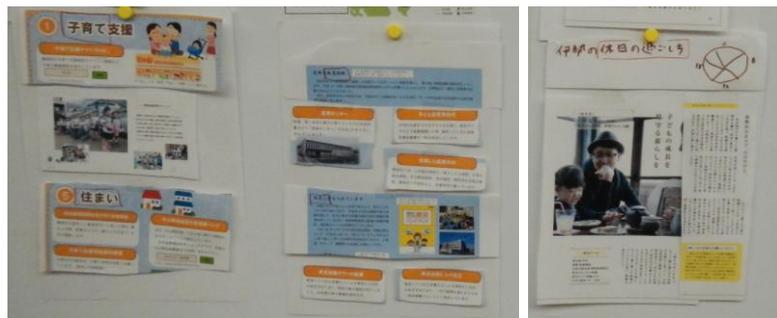
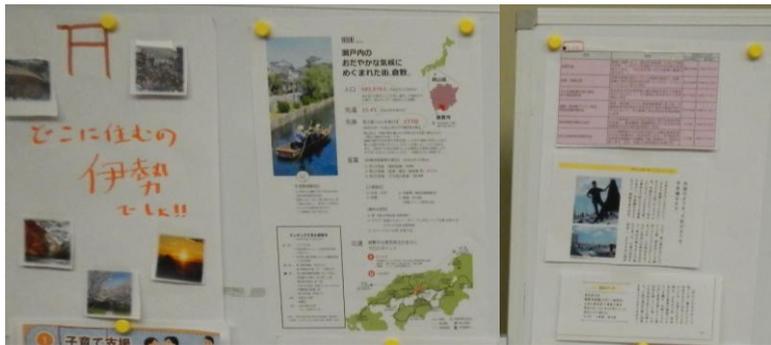


A3用紙6枚に、
・オリジナルにデザイン
・伊勢市及び他自治体のパンフレットの
コピーから切り取って配置

【A班】



【B班】



【C班】



第2部

各班のメンバー1人ずつが集まり、各々が自分の班で作成したパンフレットの案の趣旨やポイントを説明した後、4項目（①表紙、②内容のバランス、③内容の掲載順、④情報量）で評価を行い、各々が気付いたことを全体で共有した。



（参加者）

単身者をターゲットにして作成した。伊勢で新しい生活を始めた人が、まちを散策したい、もっと楽しみたいという前向きな気持ちを持ってくれたらと考えた。（A班）

表紙が目立つようにデザインやキャッチコピーを考えた。全体的に可愛らしい感じとしつつ、情報を詰め込みすぎないように配慮した。（B班）

雑誌やパンフレットを読むときに、これまで見やすさを意識しなかったが、手にとってもらうためにどんな工夫が必要なのか、ターゲットは誰にするのか、どうすれば見やすくなるかなどを普段から意識することが大切だと思う。（C班）

雪が降るかどうかなどの気候に関する情報は、その土地での生活をイメージする上で重要度の高い情報であると思う。（A班）

食生活や子育てに関する不安を移住者の体験談や支援制度の情報で解消できるようにした。また、一日の過ごし方を紹介して楽しさをアピールした。伊勢ならではのお店情報も入れたい。（B班）

伊勢の強みをつくること、そしてシンプルに見やすく伝えることが大切だと思う。一方、実際に自分が作成する立場となれば、情報を取捨選択するのは難しい問題だと思う。（C班）

ターゲットが異なっても、伊勢の良さをアピールできる写真、魅力、生活情報が必要になる。C班の表紙は移住者自身が入れる工夫がされていて、新しい土地での暮らしをイメージできる楽しい発見があった。（A班）

ターゲットを単身者とするか家族とするかによって、内容が変わってくることに気付いた。パンフレットにQRコードを掲載し、ホームページに誘導してさらに詳しい情報を提供できると良いと思う。（B班）

ターゲットを誰に絞るか、あえて広くするか、悩ましい問題だと思う。余裕があれば、単身者向けパンフレットと子育て家族向けパンフレットの2種類を作成するのも良いかもしれない。市役所に期待したい。（C班）

(ファシリテーター)

移住PRパンフレットに期待する役割として、「移住に際しての不安をいかに和らげることができるか」、「新しい土地での暮らしをいかに早く安定させることができるか」、といったことがある。様々な自治体が作成したパンフレットを見比べたとき、「暮らし」・「暮らす」・「暮らそう」という言葉の使い方で受ける印象が違ってくるように思われたので、「移住者の視点で言葉を選ぶ」ことも大切である。移住者がその土地に慣れるには、まちを散策することで知っている場所を増やし、まちを知ることで自らの暮らしを良くしていく過程が必要であると思われる。地元の人と交流したり、地元の人から支援を受けたりすることも、移住者が早く新しい生活に慣れるための手助けになるのではないか。

アンケート回答まとめ【印象に残ったこと、期待すること、その他意見…】

- ◆ 実際に伊勢市に移住した方、民間企業の方など、いろいろな立場の方を巻き込んで意見を聞いたら、もっと良いものが作れると思う。
- ◆ PRポイントを取捨選択する、他の地域にもあることは思い切って捨てること。
- ◆ 「伊勢の強みを探し出せない」という言葉が印象に残っており、自ら強みを知っていくこと、強みを作っていくことも大切にしなければと思う。
- ◆ ターゲットを単身者にするにせよ、家族にするにせよ、まずは自分たちがまちを知ることが大切であり、その上で伊勢のアピールポイントを紹介するべきだと思った。
- ◆ 移住する上で伊勢に強みが無いのが歯がゆいという意見があり、その通りだと思った。移住を考える人にとってのメリットの創出が課題だと思った。
- ◆ 伊勢をアピールするときに、他市町と違う強みを見つけることは難しいと感じた。
- ◆ 「移住の不安を取り除く」というキーワードがパンフレットを作成する上で大切だと感じた。
- ◆ 「知らなければ発信できない」という言葉に衝撃を受けたので、自分も発信するためにもっと伊勢を知っていきたい。
- ◆ 誰をターゲットにするか、伊勢の強みは何かについて、皆と意見交換したい。

以上